



## 「憲法に違反する『安全保障関連法案』の廃案を求める意見書」 提出を求める請願

### 請願の趣旨

安倍政権が今国会に提出した「安全保障法案」は、憲法 9 条と前文の恒久平和主義、平和的生存権の基本的原理に違反し、自衛隊の海外での武力行使に道を開くものです。

これまでの政府が「憲法を変えない限りできない」としてきた集団的自衛権の行使を、安倍政権は解釈により可能とし、この法律により実質的に憲法を変えようとしています。法律を憲法に優先させるのは立憲主義の否定です。衆議院憲法審査会で 3 人すべての憲法学者が違憲を表明、これを受け、90%の憲法学者が違憲を表明（東京新聞）、元内閣法制局長官も次々と違憲を表明、元自民党閣僚からも法案への反対表明がされています。また、審議が進めば進むほど、多数の国民（6割）が「違憲」の声をあげ、戦争を望まない意思表示は各界、各世代、各地域と空前の広がりを見せています。主権者である国民の合意もないまま成立させることは、国民主権に反します。

特に横須賀は、自衛隊基地と米軍基地があり、自衛官とその家族がたくさん住む街です。法案が成立すれば、自衛隊の海外派遣要件が拡大され、自衛隊員は殺傷し、殺傷される現実の危険にさらされることとなります。

また、自衛隊と米軍が一体となって軍事行動する結果、原子力空母を含めた第七艦隊の基地のある横須賀は軍事拠点となると同時に、他国の紛争に巻き込まれることが懸念され、明らかに、横須賀市民に取り返しのつかない犠牲と負担を強いることとなります。横須賀市民が、未来にわたり、生命、財産を守り、希望を持って住み続ける街でいられるよう、平和の鍵を握る要の街・横須賀から、安保法制の廃案を求める意見書を採択してください。

### 請願項目

憲法に違反する「安全保障関連法案」の廃案を求める意見書を、国会に提出してください。

2015年8月17日

横須賀市議会議長 様

請願者 横須賀市民九条の会

住所 横須賀市

氏名 岸牧子

外署名 3,569名